

大和地区社協だより

第10号

●令和元年度大和地区社協定期総会開催

5月17日 大和まちづくり拠点施設（旧公民館）で定期総会を開催しました。来賓の桑名市社会福祉協議会会長の山中啓圓様の挨拶にもありましたが、全国的に高齢化率が高くなっていくことは否定できません。この大和地区内でも同様であります。そのことを認識したうえで地域活動を推進していきたいと思えます。高齢化世帯が増える中では、ご近所はじめ、地域住民との関りが大切になってくると思えます。そのための場づくりとして昨年11月に「第1回大和みんなのつどい」を開きましたが、今年度の活動方針にも計画することで確認されました。楽しくて有意義なつどいとなるように取り組みたいと思えます。

大和地区社会福祉協議会 会長 佐藤勝彦



桑名市社会福祉協議会会長の山中啓圓様の挨拶



佐藤会長の挨拶

●宅老所「竹の和」の主な行事予定（午前10時～午後4時まで開所）

- 6月18日・・・音楽療法士教室 午前10時30分～11時30分
- 7月 2日・・・詩吟教室 七夕準備
- 7月 9日・・・2日遅れの七夕（包括支援センター）
- 7月16日・・・音楽療法士教室 午前10時30分～11時30分
- 8月 6日・・・大森演芸教室
- 8月13日・・・休所日（お盆休み）
- 8月20日・・・音楽療法士教室 午前10時30分～11時30分

★ 蛸塚「縣会館」では毎月第4土曜日の午前9時から開いています。

- 6月は22日
- 7月は27日
- 8月は17日又は31日（地藏盆の為）

※ どなたでも自由に参加出来ますから、皆様お誘いあわせの上、お気軽にご参加下さい。

●みんなで守ろう子どもの未来

新年度が始まって早や2か月以上経過しました。

今年度は大和小に17名の新入生が入学しました。

毎年の事ですが、黄色い帽子と黄色のランドセルカバーがひとときわ目を引きます。

毎週初めに朝の通学時に立っている見回りのおじいさんたちとも顔見知りになりましたか。

分団長も交替して、そろそろ慣れてきた今日この頃です。

世間では車による暴走事故や、刃物による事件など目を覆いたくなる痛ましいことが続いて報道されています。子どもたちを見送りながら何事もないよう願わずにはられません。



●お話宅配便「すきっぷ」を始めました

6月11日、宅老所「竹の和」で初めてお話の読み聞かせ会を開きました。

「すきっぷ」は市内の小学校、宅老所、福祉施設などに様々なお話を届けて下さる皆さんです。

今日はその中の矢田治子さんと阿部真理香さんの二人がお話を届けに来てくれました。

矢田さんは以前に成徳中学校、大和小学校で教師をやってみえた関係で顔見知りの方もあり初めての集いと思えないほどでした。お話は、北杜夫さんのエッセイ「妻より強かったころ」、向田邦子作森繁久彌を語る「余白の魅力」三重県の昔話「神のおつげ」岩貞るみこ作の実話「しっぽをなくしたイルカ」の4話を朗読いただきました。

○皆さんの感想を一言

- 本を読んでもらうって何年ぶりかしら。いいもんですね。
- 聞きながらいろいろと想像できることがいい。
- テレビのないころを思いました。
- イルカがかわいそう。せっかく人工のしっぽをつけたのにもう少し長生きしてほしい。



矢田治子さんと阿部真理香さん



みんなで朗読を聞いている